

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	森林管理課	職	課長	氏名	五味 亮
評価者	組織	森林管理課	職	課長	氏名	五味 亮

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	多面的機能の持続的発揮に向けた多様で健全な森林の整備・保全	10年間の間伐実施面積(累計)	ha	40,000 (H32)	15,352 (H27)	17,623 (H28)	C
施策2	森林の健全な育成と木材の安定供給を担う林業の再生・飛躍	県産材の供給量	千m <sup>3</sup>	300 (H32)	121 (H27)	146 (H28)	C
施策3	再生可能資源である木材の利用促進と木材産業の活性化	県産材使用の住宅メーカー数	社	230 (H32)	226 (H27)	230 (H28)	A

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 適切かつ計画的な森林整備の推進	間伐実施面積(年間)	ha	4,000 (H28)	2,087 (H27)	2,271 (H28)	1 いしかわ森林環境基金事業(ハード)	市町、森林組合	463,739	463,641	A	継続
	課題2 県産材の供給量の倍増・間伐材利用の拡大による林業の活性化	間伐実施面積(年間)	ha	4,000 (H28)	2,087 (H27)	2,271 (H28)	1 森林整備・林業活性化事業	市町、森林組合	348,099	347,559	B	継続
	課題3 県民の理解の増進	フォレストサポーター養成人数	人	300 (H28)	286 (H27)	295 (H28)	1 いしかわ森林環境基金事業(ソフト)	市町、NPO等	34,763	34,755	B	継続
	課題4 森林病虫獣被害の軽減	松くい虫被害量	m <sup>3</sup>	2,000 (H28)	6,483 (H27)	5,341 (H28)	1 松くい虫防除事業	防除計画松林	53,200	53,194	B	継続
施策2	課題1 零細な伐採業者等の組織化の支援	高性能林業機械の導入台数	台	100 (H32)	87 (H27)	88 (H28)	再掲 森林整備・林業活性化事業(※)	林業者等	171,433	171,433	B	継続
	課題2 素材生産量の拡大	間伐材生産量(年間)	m <sup>3</sup>	166,000 (H32)	86,723 (H27)	92,493 (H28)	1 他産業との連携した林業収益力向上対策事業	林業者等	8,000	7,966	B	継続
施策3	課題1 良質な県産材製品の供給体制の強化	県産材使用住宅メーカー数	社	230 (H32)	226 (H27)	230 (H28)	再掲 森林整備・林業活性化事業(※)	林業者等	171,433	171,433	B	継続
							2 石川の木材利用推進事業	林業者等	10,700	10,679	B	継続

※内訳(森林整備・林業活性化事業)

高性能林業機械の導入	7,433
木材加工施設整備	164,000

# 行政経営シートC（事務事業調書）

<b>事務事業名</b>	いしかわ森林環境基金事業（ハード）	<b>事業開始年度</b>	H19	<b>事業終了予定年度</b>	H33	<b>作</b> 組織名	農林水産部 森林管理課	
		<b>根拠法令・計画等</b>	いしかわ森林環境基金事業補助金交付要綱				<b>成</b> 職・氏名	主任技師 富沢 直浩
						<b>者</b> 電話番号	076 - 225 - 1644 内線 4820	

**事業の背景・目的**  
 森林は、水源のかん養、山地災害の防止、生活環境の保全など、県民の暮らしに欠くことのできない公益的機能を持っている。しかし、奥地などにある森林は、林業採算性の悪化や山村の過疎化等によって、経済活動を前提としたこれまでの制度では整備が行き届かず、水源のかん養機能等の低下が懸念されている。  
 こうした現状をふまえ、H19年度から導入された「いしかわ森林環境税」により、H23年度までに水源地域等に存在する森林環境の整備を実施してきた。  
 しかし、依然として多くの手入れ不足人工林が残されていること及び竹林の放棄に伴う手入れ不足人工林への竹の侵入が見られることから、H24年度以降は強度間伐と侵入竹の除去を一体的に実施することにより、森林が本来有する多面的機能の高度発揮に資する。  
 併せて県民の理解増進と県民参加による森づくりの取組についても継続し、県民の意識の醸成に努める。

**事業の概要**  
 1. 森林環境の整備（ハード）  
 手入れ不足林の強度間伐及びこれと合わせて実施する侵入竹の一体的な除去について費用を補助  
 H28森林整備面積 1,069ha

2. 森林環境整備の推進及び経過調査等  
 手入れ不足林等の現地調査・森林所有者との協定締結について定額を補助  
 対象区域における環境影響調査、施工地のモニタリング調査  
 森林所有者への事業内容説明パンフレットの作成等

**事業主体**  
 1. 森林環境の整備 …… 森林組合、民間事業者、市町  
 2. 森林環境整備の推進及び経過調査等 …… 市町、県

**補助率**  
 1. 森林環境の整備 …… 造林公共：10／10（国45%、県55%）  
 …… 基金単独：10／10（県）  
 2. 森林環境整備の推進及び経過調査等 …… 10／10（県） 5／10（国）、5／10（県）

**事業期間**  
 平成19年度から28年度（10カ年）

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	多面的機能の持続的発揮に向けた多様で健全な森林の整備・保全					<b>評価</b>	C
<b>課題</b>	適切かつ計画的な森林整備の推進						
	<b>指標</b>	間伐実施面積(年間)				<b>単位</b>	ha
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	4,000	3,192	2,766	2,253	2,087	2,271	
事業費							
	<b>(単位:千円)</b>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<b>事業費</b>	予算	536,997	537,915	536,509	516,409	463,739	
	決算	536,935	537,780	536,468	516,393	463,641	
<b>一般</b>	予算						
<b>財源</b>	決算						
<b>事業費累計</b>		3,778,598	4,316,378	4,852,846	5,369,239	5,832,880	
評価							
	<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	本事業では、手入れ不足人工林に対する強度間伐により効率的に森林の公益的機能の維持回復を目指すものであり、また、必要に応じて侵入竹林の除去を一体的に行うことで、竹林の整備にも効果があるなど高い成果を上げており、外部有識者から構成される森林環境基金評価委員会においても高く評価されているところである。 平成19年度より開始した本事業により、約20,000haの手入れ不足林が解消される見込みとなり、公益的機能の確保等、一定の効果を得ることができた。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	当初の事業期間の10カ年が経過したところであるが、依然として手入れ不足林は存在すること、森林への竹の侵入も多く見られること、野生獣の出没など新たな課題に対応する必要があること等から、外部有識者から構成される森林環境基金評価委員会においても、引き続き本事業による森林整備は必要であるとされているところであり、事業期間を5年間延長し、今後も本事業による森林整備を実施していく。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	森林整備・林業活性化事業費(間伐、路網、境界明確化)	事業開始年度	H21	事業終了予定年度	H29	作 組 織	森林管理課
		根拠法令・計画等	いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2011				成 職・氏名
						者 電話番号	076 - 225 - 1646 内線 4812

**事業の背景・目的**

木材の安定供給体制の構築と国際競争力の強化を図るため、県が川上から川下までの林業・木材産業等関係者と共同で体質強化計画を策定し、原木を安定的に供給できるよう林業事業体等に対して間伐材の生産及び林内路網整備等の支援を行う。

**事業の概要**

<内容>

- ①間伐生産  
木材加工施設に原木を安定供給するために行う間伐材の生産
- ②路網整備  
間伐材の生産に必要な林業専用道及び森林作業道の整備
- ③森林境界の明確化  
路網整備を進める際に必要となる森林の境界の明確化に対する支援

<事業主体>  
県、市町、森林組合、林業事業体、林業公社、木材関連業者等の組織する団体、地域材を利用する法人等

<事業期間>  
平成21年度～平成29年度

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
施策	多面的機能の持続的発揮に向けた多様で健全な森林の整備・保全					評価	C
課題	県産材の供給量の倍増・間伐材利用の拡大による林業の活性化						
	指標	間伐実施面積(年間)				単位	ha
	目標値	現状値					
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	4,000	3,192	2,766	2,253	2,087	2,271	
事業費							
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算	1,138,833	3,756,739	36,330	813,113	348,099	
	決算	898,901	3,755,382	36,330	762,271	347,559	
一般	予算	149,656	165,164	0	0	0	
財源	決算	149,345	167,095	0	0	0	
事業費累計		898,901	4,654,283	4,690,613	5,452,884	5,800,443	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	木材の低コスト生産には、路網整備や流通・供給体制の整備が不可欠であり、当事業の実施により、川上から川下までが一体となった県産材の安定供給体制の一助となっている。 間伐材の生産量:92,493m3 路網整備:65,084m 境界明確化の支援:587ha				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	間伐材を含む県産材安定供給体制の強化には、引き続き路網整備等が不可欠である。 また、素材生産の低コスト化に加え、集成材やCLTなど付加価値の高い利活用の推進に取り組み、川上から川下まで一体となった林業・木材産業の育成に努め、国際競争力の強化を図る。  ※CLT…板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのこと。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ森林環境基金事業(ソフト)	事業開始年度: H19	事業終了予定年度: H33	作 組 織: 森林管理課
	根拠法令・計画等: いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2011	成 職・氏名: 主任技師 東出 満	者 電話番号: 076 - 225 - 1642 内線 4822

**事業の背景・目的**

県民共有の財産である森林を社会全体で支えることが大切であることから、森づくりに対する県民の理解の増進と県民参加の森づくりを推進する。

**事業の概要**

- (1) いしかわの森づくり普及広報推進事業(県営)  
森づくりに関する普及広報、説明会の開催、優良活動団体の表彰、評価委員会開催等
- (2) いしかわ森林環境実感ツアー(県営)  
手入れ不足林やその整備状況等の見学会や木育教室の開催
- (3) いしかわ森づくり推進月間事業(県営)  
毎年10月を森づくり推進月間とし、県内各地で県民森づくり大会を開催
- (4) 企業の森づくり推進事業(県営)  
社会貢献に積極的な企業が、森づくり活動へ参加するためのフィールド紹介等の支援
- (5) 森づくり活動事例発表会(県営)  
NPO等に活動事例を発表してもらい、森づくり活動の活性化を図る
- (6) こども森の恵み推進事業(補助事業)  
小中高校生等参加のもとに行う植樹や炭焼き等の森林体験活動を行うNPO等に対する支援
- (7) いしかわ身近な森保全事業(補助事業)  
市町等が集落等と協働し里山林等の保全、活用する取組に対する支援

**事業主体**

- (1)、(2)、(3)、(4)、(5): 県
- (6): 市町、小中高等学校、NPO等
- (7): 市町等

**これまでの見直し状況**

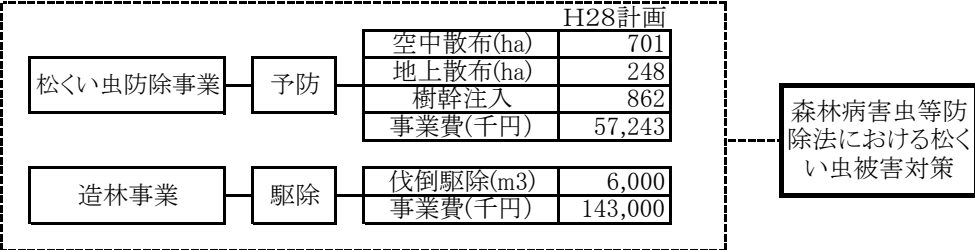
施策・課題の状況						
施策	多面的機能の持続的発揮に向けた多様で健全な森林の整備・保全					評価: C
課題	県民の理解の増進					
指標	フォレストサポーター養成人数					単位: 人
目標値	現状値					
	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	300	252	269	279	286	295
事業費						
(単位: 千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費: 予算	31,497	28,789	28,894	31,830	34,763	
事業費: 決算	31,479	28,696	28,610	31,762	34,755	
一般 予算						
財源 決算						
事業費累計	142,477	171,173	199,783	231,545	266,300	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	森林の多様な機能やその恩恵などを理解していただくための普及広報活動や県民参加の森づくり活動への支援などを推進している中、各種活動やイベントへ多くの県民が参加しており、森づくりに対する県民の理解の増進と県民参加による森づくりの推進に役立っている。 H28年度の参加者数: 11,376人				
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	当初の事業期間の10カ年が経過したところであるが、森林がもたらす県民への様々な恩恵を踏まえ、森づくりに対する県民の理解の増進と県民参加の森づくり活動を推進することは、今後とも重要な課題であることから、ハード事業と合わせ事業期間を5年間延長し、引き続き取り組んでいく。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 松くい虫対策費	事業開始年度 S57～	事業終了予定年度:	作 組 織 森林管理課 成 職・氏名 主任技師 磯辺 美里 者 電話番号 076 - 225 - 1644 内線 4820
	根拠法令	森林病虫害等防除法	
	・計画等		

**事業の背景・目的**  
 松くい虫被害の蔓延を防ぐため、保全すべき松林において重点的に薬剤散布、伐倒駆除及び特別伐倒駆除を実施し、この区域内における松くい虫被害の徹底防除を図る。また、これら周辺松林においては保全すべき松林への松くい虫への進入を防ぐため、伐倒駆除や樹種転換等の総合的・計画的な被害対策を実施することにより松林の保全を図る。

**事業の概要**



これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	多面的機能の持続的発揮に向けた多様で健全な森林の整備・保全				評価	C
課題	森林病虫害獣被害の軽減					
指標	松くい虫被害量				単位	m3
目標値	現状値					
平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
2,000	2,843	7,293	6,776	6,484	5,341	

事業費					
(単位: 千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算 42,856	33,091	54,585	50,886	53,200
	決算 42,801	33,089	54,579	50,879	53,194
一般	予算 34,610	31,201	35,375	36,546	37,088
財源	決算 34,564	31,199	35,372	36,543	37,084
事業費累計	521,019	554,108	608,687	659,566	712,760

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	松くい虫被害の軽減に向けた取り組みの結果、被害量は目標値よりも上回っているが、平成25年度以降、着実に減少しており、平成28年度は前年比17.6%の減となった。防除実施による一定の効果は出ており、引き続き継続的な実施が重要と考えている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県における松林は、景観的な価値(白砂青松)、冬季の防風・防砂林、マツタケ生産等の重要な役割を担っており、松林の保護・保全を図ることは極めて重要である。将来にわたってこれら松林を健全に保全していくことが大切であり、被害量のさらなる軽減に向けて、防除事業の適切な実施・徹底した防除を継続していく必要がある。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	森林整備・林業活性化事業 (高性能林業機械の導入、木材加工流通施設等整備)	事業開始年度: H21	事業終了予定年度: H29	作 組 織: 森林管理課
		根拠法令: 石川県森林整備・林業活性化交付金交付要綱		成 職・氏名: 専門員 島田 早苗
		・計画等: 石川県森林整備・林業活性化基金事業補助金交付		者 電話番号: 076 - 225 - 1643 内線 4817

**事業の背景・目的**

森林整備の促進と林業・木材産業等の活性化を目的として、路網整備や間伐の推進など川上に対する支援から木材加工流通施設整備や木造公共施設整備など川下に対する支援までの総合的な対策を実施する。

**事業の概要**

区分	市町	事業内容
高性能林業機械整備	七尾市	ハーベスタ 1台
木材加工流通施設等整備	小松市	木材加工供給施設 1式
	加賀市	木材加工供給施設 1式

これまでの見直し状況

**施策・課題の状況**

施策	森林の健全な育成と木材の安定供給を担う林業の再生・飛躍	評価	C			
課題	零細な伐採業者等の組織化の支援					
	指標	高性能林業機械の導入台数	単位: 台			
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	100	66	72	78	87	88

**事業費**

(単位: 千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	298,582	706,883	36,756	647,474	171,433
一般	298,582	706,880	36,756	647,474	171,433
財源					
事業費累計	1,133,034	1,839,914	1,876,670	2,524,144	2,695,577

**評価**

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	木材の低コスト生産には、高性能林業機械等の導入や、流通・供給体制の整備、加工施設の整備が不可欠であり、当事業の実施により、川上から川下までが一体となった県産材の安定供給体制の一助となっている。 H28年度実績: 高性能林業機械の導入 1件 木材加工供給施設の整備 2件
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県産材製品の安定供給体制を強化するためには、高性能林業機械の導入や加工流通拠点の整備等が不可欠であり、低コスト生産に加えて集成材など付加価値の高い利活用の方法を構築し、川上から川下まで一体となった林業・木材産業の育成に努めていく。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	他産業と連携した林業収益力向上対策事業費	<b>事業開始年度</b>	H28	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	森林管理課
		<b>根拠法令・計画等</b>	いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2011	<b>成 職・氏名</b>	主幹 向瀬 信太郎	<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1643 内線 4816

**事業の背景・目的**

原木価格が低迷する中、林業現場においては木材の搬出経費が高み、利用されことなく現場に放置されたり、再造林経費が捻出できずに主伐が遅れる等、木材生産活動が停滞している。

こうした中、小松製作所㈱(以下「コマツ」)が地域林業の活性化支援を目的に、県等と包括連携協定を締結し、収益性の高い林業経営の推進・普及について連携し合うこととなった。

県ではこの機会を活かし、課題である主伐促進等に資するため、ICTを活用したスマート林業構築に向けた検証をコマツと連携して実施することにより、森林所有者にとって魅力ある(=収益性の高い)林業を目指す。

**事業の概要**

1 事業内容

(1) 伐採前の資源量調査の効率化  
コマツが土木分野で実用化しているドローンによる3D計測技術に森林の資源量把握のためのシステムを付加し、伐採前の資源量調査の効率化に対する実証試験を実施。

(2) 造材時の丸太の計測作業の効率化  
伐採・造材を行う林業機械(ハーベスタ)による造材作業時に丸太の長さ・直径を計測できる仕組みと、造材情報を収集・整理するためのクラウドシステム等を活用し、木材生産情報の見える化・効率化に関する実証試験を実施。

(3) 林業人材育成事業  
上記技術を迅速に普及するため、並行して研修事業を実施。

2 事業主体 石川県

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	森林の健全な育成と木材の安定供給を担う林業の再生・飛躍					<b>評価</b>	C
<b>課題</b>	素材生産量の拡大						
	<b>指標</b>	間伐材生産量(年間)				<b>単位</b>	m3
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	166,000	63,298	78,294	81,360	86,723	92,493	
事業費							
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<b>事業費</b>	予算					8,000	
	決算					7,966	
<b>一般財源</b>	予算					8,000	
	決算					7,966	
<b>事業費累計</b>		0	0	0		8,000	
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	ドローンによる3D計測技術を活用した森林資源量調査の実証試験、伐採・造材を行う林業機械(ハーベスタ)による造材作業時の丸太の長さ・直径を計測できる仕組み等の実証試験ともに、従来の人力による作業から人工数の低減に繋がることを明らかにすることができた。 あすなろ塾における研修により、上記取組の普及をすることができた。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	木材生産量の増加につながる主伐を促進するために、平成29年度は、県内4箇所モデル地区を設定し、コマツのICT技術を活用した低コストシステムの一連の作業による実地検証を実施する。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	「石川の木材」利用推進事業		事業開始年度	H16	事業終了予定年度	
			根拠法令 ・計画等	いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2011		
			作組織	森林管理課		
		成職・氏名	課長補佐 鈴木 修治			
		者電話番号	076 - 225 - 1643 内線 4817			

**事業の背景・目的**

県民への森の役割や木の良さ等の普及啓発、木材需要の大部分を占める住宅分野における県産材の需要拡大等を通じて、林業・木材産業の活性化、健全な森林の育成、環境と調和した循環型社会の構築を図る。

**事業の概要**

1 事業内容

(1) 「石川の木材」普及啓発事業

- ・ 学童や県民を対象とした木工作教室の実施
- ・ 森林作業現場から木材加工、住宅の一連を見学するバスツアーの実施
- ・ 農林漁業祭りでの県産材を活用した製品展示

(2) 「いしかわの木が見えるたてももの推進事業」

- ・ 施主が県に登録された「いしかわの木が見える活用例」を採用し、県産材を一定以上使用した住宅等の取得者への助成
- ・ 県産材の需要拡大に貢献した工務店を表彰

2 事業主体(交付対象者)・補助率

(1) 石川県木材利用推進協議会 (1/2(県1/2))

(2) 住宅等を建築又は購入する者 (県産材使用量5m<sup>3</sup>~10m<sup>3</sup>:定額1戸当たり 8万円)  
 (県産材使用量15m<sup>3</sup>以上 :定額1戸当たり15万円)  
 県 (定額20万円)

**これまでの見直し状況**

「いしかわの木が見える家づくり推進事業」(H21~H23)から平成24年度より「いしかわの木が見えるたてももの推進事業」に名称変更し、補助対象に住宅以外の店舗等を追加。また県産材の使用量に応じ補助金額等優遇措置を設定

施策・課題の状況							
施策	再生可能資源である木材の利用促進と木材産業の活性化					評価	A
課題	良質な県産材製品の供給体制の強化						
	指標	県産材使用住宅メーカー数				単位	社
	目標値	現状値					
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	230	194	211	217	226	230	
事業費							
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	予算	10,700	10,700	10,200	10,700	10,700	
	決算	10,658	10,645	10,200	10,623	10,679	
一般財源	予算	10,700	10,700	10,200	10,700	10,700	
	決算	10,658	10,645	10,200	10,623	10,679	
事業費累計		70,026	80,671	90,871	101,494	112,173	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	県産材を一定以上使用した住宅等取得者への助成や、一定以上の県産材使用住宅を建築し事業に参画した工務店の表彰等により、県産材使用住宅メーカー数が順調に増加しており、林業・木材産業の活性化に成果を上げている。 ※住宅取得者への助成:81件、工務店への表彰:7件 ※申請住宅県産材取扱量:H27:1,792m <sup>3</sup> → H28:2,198m <sup>3</sup>				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民に身近な住宅分野における県産材の需要拡大を図ることが、森林・林業の活性化につながるため、今後も本事業を継続して実施していく。				